

## 床タイル(ビニル床タイル・ラバータイル) 注意事項

### 選択上のご注意

防滑性マークは、製品の防滑性を示す目安です。履物や歩行状態、水濡れや砂の持込み、使用したワックスの種類など環境によって大きく左右されます。選択の際のひとつの目安としてご利用下さい。詳細は本誌517頁をご参照下さい。

機能別インデックスを参考に、建物の用途・環境に応じた製品を選択して下さい。

- 暗所、アルカリ性雰囲気、高温多湿環境下において、床材の変色が発生する場合があります。これらの条件が揃わないように注意して下さい。そのような箇所へ床材を施工する際には、発生しても目立たない暗色系のご採用をおすすめします。
- NWシリーズ、NW-EXシリーズおよび防滑性床材は、製品の特性上、素足や靴下での歩行時に素材表面がひっかかる事があります。上靴、スリッパ履きで使用する事をおすすめします。
- 歩行マークは製品の耐久性を示す目安です。歩行マーク以上の使用は避けて下さい。詳細は本誌512頁をご参照下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。また、フラットな表面形状に比べてエンボスが深いほど汚れが残りやすくなります。ご留意下さい。
- リサイクル材を使用している製品は、裏面の色や裏面の仕上り状態にバラツキが生じる事があります。リサイクル材を使用する事による品質への影響はありません。
- コンポジションビニル床タイルは製品の特性上、タイルの角が若干丸みを帯びる事があります。
- 床タイルは熱に弱い性質を有しています。摩擦熱等により、床面に変色、変形が生じる事があります。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

### 施工上のご注意

#### ■ 施工前

- 施工の前に「東り施工マニュアル」をご一読下さい。

施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。

有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気に心掛け、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行って下さい。  
! 有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。

下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を順守しなかった場合、目地スキや突上げ、剥がれなどを招く可能性があります。いずれも、美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因になります。詳細は「東り施工マニュアル」をご参照下さい。

- 下地に段差・隙間・凹凸のある場合、その程度によってタイルの表面が目立って現われる場合があります。
- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始して下さい。同一床面上は、同ロットで仕上げて下さい。
- 既設床への重ね貼りは、膨れ、伸び、突上げなどを招く可能性があります。詳細は「東り施工マニュアル」にてご確認下さい。
- 施工の際はタイル裏面の矢印か点線等で流れ方向をご確認下さい。方向が変わると色差のように見える事があります。
- 若干寸法にバラツキがあります。施工の際にはご注意下さい。

#### ■ 施工中

- タイル一枚一枚の色柄に変化と濃淡があります。この不均一感が、仕上がったフロアにより一層の自然感をもたらします。同じ色調のタイルがかった場合は、部分的に差替える事で違和感なく納まります。
- 下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良や汚染を発生させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始して下さい。
- 木質系下地に使用の際は、下地継ぎ目部の段差を充分に補修して下さい。タイル表面が平滑なタイルほど下地の段差が目立ちやすくなります。
- 床タイルは室温になじませてから施工して下さい。室温と床タイルに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地スキ、突上げなどをおこす可能性があります。
- 接着の際は、製品の指定接着剤を使用し、5mmピッチのくし目ごてで均一に塗布して下さい。

#### ■ 施工後

- 施工後はローラーで全面を圧着して下さい。圧着不良は、接着不良につながり、後日、床タイルの反り、突上げ、剥がれなどが生じる事があります。
- 施工直後に養生シートを使用した場合、床タイルとシート間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、床タイルの反り・突上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、接着剤が充分硬化してから使用して下さい。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼付けしないで下さい。床材を汚染する原因となります。
- 施工後、一週間は、直射日光や水洗い、冷暖房などによる急激な温度変化、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれ・へこみ跡などを発生させる可能性があります。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので充分な養生期間をとって下さい。

施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。床タイル・ラバータイルを燃やすと有害ガスが発生します。